第5期藤沢市地産地消推進計画(案)に関する パブリックコメント実施結果について

1 パブリックコメントの実施概要

- (1)意見等を募集した件名藤沢市地産地消推進計画(改定案)
- (2) 意見等の募集期間

2021年(令和3年) 12月3日(金)から2022年(令和4年) 1月4日(火)まで

(3) 資料の閲覧場所

農業水産課,市役所受付案内,市政情報コーナー,各市民センター・公 民館又は市のホームページ

(4) 意見等を提出できる方

市内在住・在勤・在学の方,市内に事業所等を有する方,その他利害関係者

(5) 意見等の提出方法

郵送、FAX、持参又は市ホームページ上のパブリックコメント専用提出フォーム

2 意見等の提出状況について

- (1) 意見等の提出者数:2人
- (2) 意見等の件数: 4件
- (3) 意見等の反映状況:ア 計画に反映させた意見 0件

イ すでに計画に位置付けられている意見 0件

ウ 今後の取組の参考とする意見 4件

エ その他の意見 0件

(4) 提出された意見等の概要と市の考え方について

ア 「第5章 第5期計画における施策」に関する意見等

	「第5草 第5期計画における施	界」に関りる思兄寺
No.	意見等の概要	市の考え方
1	全国的にもオーガニック給食が少	地産地消を推進するため, 慣行栽培
	しずつ進んでいる。オーガニック	及び有機栽培による農産物の区別
	給食までは届かなくても, 有機野	なく, 学校給食における藤沢産農産
	菜を給食に使っていくことは,藤	物の利用品目の拡大及び供給量の
	沢市の子どもたちの食について考	増加に努めています。
	えを深める機会と有機野菜の地産	現在,有機栽培の農産物として,あ
	地消の取り組みにつながっていく	いがも米が学校給食で提供されて
	と思う。有機野菜を学校給食に取	いますが、第5期計画では、第5章
	り入れていくことを要望します。	の重点的に取り組む施策の「藤沢産
		農水産物等の学校・保育園給食供給
		強化」の中で、有機栽培による農産
		物を含めた藤沢産農産物の更なる
		供給拡大について検討してまいり
		ます。(今後の取組の参考とする意
		見)
2	アンケート結果を見て、多くの藤	藤沢産農水産物の購入については,
	沢市民が地産地消推進について関	量販店での藤沢産コーナー設置の
	心を持ち、地元産の農水産物を購	取組を進めるほか,市役所本庁舎や
	入したいと思っていることが分か	イベントにおける販売を行い、身近
	るが,現状では市民の手に充分届	な場所で購入できるよう取組を進
	いていないという意見が多いよう	めています。第5期計画では,第5
	に思います。小売店で大々的に地	章の長期的に取り組む施策の「藤沢
	元産の商品を扱うことが難しく,	産農水産物等の需要拡大・供給強
	改善ができないのであれば, 小売	化」の中で,量販店での藤沢産農水
	店で扱う以外の方法で消費者に届	産物の取扱量の増加等について検
	ける方法を考える必要があると思	討してまいります。
	います。既に購入意思のある消費	また,藤沢産農水産物の小売店以外
	者に届けるためのフローの作成に	での新たな購入方法については、藤
	取り組むことを希望します。	沢市地産地消推進協議会等の意見
		を踏まえ検討してまいります。(今
		後の取組の参考とする意見)

No.	意見等の概要	市の考え方
3	多くの世代に効率よく情報を届け	藤沢産農水産物の情報提供につい
	るには、LINEのプッシュ通知	ては, 地産地消の独自のウェブサイ
	や携帯のアプリを利用することが	トである「おいしい藤沢産」ホーム
	効果的ではないか。	ページやフェイスブック等により
		行っています。第5期計画では,第
		5章の長期的に取り組む施策の「藤
		沢産農水産物等のおいしい・旬の普
		及啓発・情報提供」の中で,LIN
		E等を活用した新たな周知方法に
		ついて検討してまいります。 (今後)
		の取組の参考とする意見)

イ その他の意見等

No.	意見等の概要	市の考え方
4	地産地消の弊害となっているの	農産物の販売場所の課題について
	は,生産者側の問題点もあるため,	は,市役所本庁舎やイベントにおい
	可能な限り,多くの生産者側の意	て販売する機会を設けています。ま
	見を聞き,貴重な担い手や生産環	た,農業への新規参入者に対する生
	境を守っていくことも重要だと考	産面の技術指導や規模拡大などの
	えます。直売をメインで行ってい	要望については,市やJA,神奈川
	る小規模生産者の中には販売場所	県農業技術センターなどがフォロ
	の問題点を抱えているなど, 短期	ーアップを行っております。今後に
	的に解決できる問題点を抱えてい	つきましても,生産者が直面してい
	る場合もあるため、小規模生産者	る課題の把握に努め、その課題の解
	の直面する問題の洗い出しに取り	決に向けて,関係機関と連携して取
	組むことを希望します。	り組んでまいります。 (今後の取組
		の参考とする意見)

※意見の趣旨を損なわない程度に、表記を変更しております。

以上